くも合戦

かじき 広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（平成元年４月１日現在）

総人口23,501人(-332)	出生　25人
男　11,037人(-190)	死亡　21人
女　12,464人(-142)	転入 279人
世帯数 8,173　(−78)	転出 615人

●（　）内は前月との比較●

武家屋敷の趣（おもむき）が漂う

柁城小学校の正門と塀（へい）が、かわら屋根を用いた白塀に生まれ変わり、武家屋敷風の趣を漂わせています。

これは、木造校舎の改築に併せて、加治木屋形（やかた）跡の学校らしく改修したもので、正門は灯ろうをかたどっています。

また、湯田実さん（竹下）や故大角幸夫さん（垂ノ口）から寄贈された加治木石を土台に、丸に十の字が描かれたかわらをのせた白塀は、長さが百八十四（メートル）あり、通る人の目を引いています。

校庭には、藩政時代から使われていた〝古井戸〟も「教材用に」と復元され、子供たちはつるべを動かしながら昔の生活を学習していました。

▲灯ろうをかたどった正門

白がまぶしい武家屋敷風の塀

▲復元された古井戸

平成元年

5月号

今月のページ

▷『金山橋』と『曽木家の門』を町の文化財に指定，椋鳩十さんをしのんで…2ページ　▷新しい行政連絡員…3ページ　▷まちのわだい…4～5ページ　▷「元町長・緒方明男氏を悼む」，町教職員就任式…6ページ　▷表彰，竜門句会，蒹草，在宅医…7ページ　▷おしらせ…8ページ

●No. 415　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62—2111●

『金山橋』と『曽木家の門』を町指定有形文化財に指定

龍門滝の上流・小山田にある『金山橋』と，仮屋町に残る『曽木家の門』が3月30日，町指定有形文化財に指定され，町指定の文化財は106となりました。

これは，町文化財保護審議会（瀬川新義委員長，委員4人）の答申を得て指定されたもので，町では，今後，説明板を設置するなど保存に努めてゆく計画です。

城門の面影が残る曽木家の門

金山橋

▽所在地…小山田字井手口地内
▽所有者…加治木町長

■『金山橋』の特徴

明治十二～三年ごろ、島津家は当時の加治木海岸〝通称舌出し〟を起点に山ケ野金山に通ずる道を開き、小山田井手向のアーチ式の石橋を『第一金山橋』とし、溝辺に通ずる道に第二・第三と石造りの金山橋を架設しました。

橋の長さは二三㍍、通行部の幅は三㍍で、川床からアーチ中央部分までの高さは、石の路面から七十㌢ほど盛り土がされているため十㍍五五あります。

橋の両側には手すりの跡らしいものが、また、柱には手すりをはさみ込んだであろう痕跡が残っており、石材は、二瀬戸石と竜門司坂を石畳敷にした樋の迫山の石が使われているようです。

残念なことに、だれの手により築造されたのか記録がありませんが、高さやアーチの円孤など規模も大きく、当時の石橋造りの技術水準の高いことがうかがえます。

美しいアーチ形の金山橋

曽木家の門

▽所在地…仮屋町三七番地
▽所有者…曽木隆熙

■『曽木家の門』の特徴

本柱は戦国期の飯野城大手門のもの、他は新しく補修したものですが、旧式を守っているため往時の城門の様子がよくわかります。

島津義弘公が飯野在城時代の大手門ですから永禄七年（一五六四年）から天正十八年（一五九十年）の間に造られたものと思われます。

曽木播磨守の子・重公がこの門を拝領し、その後ずっと子孫の曽木・本家の門として宝暦のころまで使用していました。その後、本家は新しい武家門を建て、飯野城の拝領門は二男家に与えられ、二男家ではこの門を使用していましたが、明治末年に傷みがひどく解体して保管しました。

その後、この門の貴重なことがわかり、解体してあった本柱などはそのまま使い、他は新しく補修して建てられました。

今日、県下に四棟しか残っていない藁葺屋根武家門の一つで、本柱の三つ角に鉄を張りつけている豪壮・頑丈なものです。

椋鳩十さんをしのんで

〈第5回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会会長
山口　正

目を西に向けると、正面に飯田の象徴といわれる風越山がそそり立つ。この山は椋の作品にも、しばしば登場する。そのまた向こうは雄大な日本アルプスの山系である。

私は、校庭に出て、かつての椋少年と同じ年ごろの高校生たちをつかまえた。

「ね、きみたち、椋鳩十って知ってる？」

すると、少年たちは、はにかみながら、うなずいた。彼等と言葉を交わしているうち教科書にも数多く登場する児童文学作品の著者・椋鳩十が自分の郷土の出身者であることに、ことのほか親しみを持っていることがわかった。

右の引用文は、鹿児島女子短期大学で、椋さんの後を継いで文学を講じておられる高士興市さんの『椋鳩十の世界』から頂戴したものです。

椋さんの足跡をたどっての美しい文章表現に魅せられて、一気に読ませてもらいました。

数年前、私は飯中の教え子たちに招かれて、飯田で生まれた長女と、久しぶりに信濃路へ向かいました。天竜川に沿って展開する車窓の山々と渓谷美に、初めて生まれ里を訪ねる娘は、感嘆の声を挙げていました。

懐かしい校舎の屋上から山脈の姿を眺め、市街に出てはりんご並木の手入れの良さに心を洗われる思いをしたのでした。

（りんごの世話は中学生が当番制で担当して、収穫したのは老人ホームへ、という習わしが定着しているとのこと。）

その並木通りで、郷土出身の詩人日夏耿之介の文学碑が建っているのを見て、飯中校歌に詠み込まれていた太宰春台という漢学者のことを思い出したのですが、文化の香り豊かな信州のことを思うにつけても、せっかく記念館を設けることになった我が加治木の里にも、先輩たちが残してくれた文武の道、士魂詩魂の遺芳を匂い立たせたいものです。青雲舎・有為舎のことを回想しては胸躍る思いです。

（この連載への御意見をどうぞ）

よろしくお願いします
行政連絡員辞令交付式

町民と行政との橋わたしをお願いする行政連絡員百十七人の辞令交付式が四月二十七日、福祉センターで行われ、浜村の増田昌弘さんに、宇都宮町長から辞令が手渡されました。

町政及び自治会発展のため、よろしくお願いいたします。

辞令を受ける増田昌弘さん

▼行政連絡員(平成元年度)

■辺川下●小宮路政人●45世帯
■辺川中●上猶　清高●16
■鶴　原●向江　力夫●25
■市　野●神園　進●12
〔辺川地区　98世帯〕

■永　原●坂元　春男●75世帯
■丸　岡●中森　初男●13
■隈原上●坂元　則男●29
■隈原下●森木　重光●18
■市野々●大山　美良●5
■上　嶽●星出　豊●28
■下　嶽●山口　利男●25
■提水流●小平　喜美●13
■菖蒲谷●向江　守●61
■桑　迫●牧之瀬　登●28
■曲　田●岩崎　晃二●15
■桃木野●後藤　貢●22
■東ヒナバ●鹿屋　春雄●9
■西ヒバナ●坂元　清行●14
〔永原地区　355世帯〕

■高井田●津崎チエ子●213世帯
■春日団地●福薗　秀己●128
■空港団地●調　裕次●72
〔木田第一区　413世帯〕

■新　中●下捕薗　修●80世帯
■西ノ原●川添　誠●55
■楠　園●中平田　茂●113
■中福良東●向江　博文●33
■中福良後●藤野　栄明●66
■弥　勒●平田　豊文●110
■上木田●稲森　優●111
〔木田第二地区　568世帯〕

■小　烏●郡山　文夫●142世帯
■赤　坂●松下　智広●192
■原ノ門●原口　一郎●149
■中　央●瀬戸口喜敏●163
〔木田第三地区　646世帯〕

■江口団地●川原　幸人●71世帯
■西江口団地●福元美智代●104
■岩原東●木場　政昭●154
■岩原西●中元　邦夫●313
〔錦江第二地区　642世帯〕

■浜　村●増田　昌弘●110世帯
■須　崎●岩下　幸夫●237
■豊　町●有馬　純明●164
〔錦江第三地区　511世帯〕

■向江町●下捕薗久士●76世帯
■東塩入●徳永　一男●139
■中塩入●岡山　俊夫●58
■南塩入●川原多喜子●88
■西塩入上●中原　勇雄●68
■西塩入中●宝蔵　義秀●40
■西塩入下●松迫　学●106
〔錦江第一地区　575世帯〕

■石　野●前田　正男●18世帯
■鞍　掛●湊　洋行●15
■永　山●児玉　三郎●14
■下東木●日高　栄●18
■上東木●市野　親義●12
■赤　谷●山口　一美●18
■西浦西●三宅　利弘●33
■地久里●鶴田　栄●4
〔竜門西浦地区　132世帯〕

■上川内●犬童　豊●8世帯
■川　内●川内　近則●26
■市来原●市来原松義●46
■新　開●松葉瀬一男●14
■宮田ケ平●垣内　光夫●22
〔竜門東浦地区　116世帯〕

■麓　●脇　利治●13世帯
■毛　上●篠崎　秋明●73
■茶碗屋●猪俣　恭雄●26
■伊部野●日高　重夫●23
〔竜門西元地区　135世帯〕

■布　越●石塚　義治●46世帯
■井手向●下小牧重雄●22
■高　崎●高崎　義則●13
■岩穴口●小竹原弘己●15
■徳　永●三好　之男●18
■小田倉●宮脇　信男●20
■迫　上●鮫島　馨●12
■迫　下●吉田　正己●25
■御狩山●南原美枝子●11
〔竜門東元地区　182世帯〕

■中野●松元　茂●42世帯
■楠原●脇　和夫●24世帯
■弓削●田島一男●10世帯
■長谷●屋所敏夫●31世帯
〔中野地区　107世帯〕

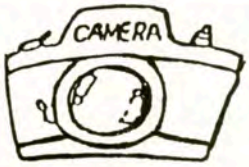
■西反土前●東脇　正徳●32世帯
■西反土後●今薗　義治●68
■萩　原●坂元　親正●210
■城　●岩澤　忍●11
■口ノ町●坂元　孝●39
■内原田●南薗　義久●116
■札　立●大脇　三二●148
■川　原●福薗　國治●26
■蔵王団地(1)●山元　安子●75
■蔵王団地(2)●篠崎ノブ子●77
■蔵王団地(3)●米蔵　優●50
■棚　目●宮田　寿夫●41
〔城北地区　893世帯〕

■新　町●別府ユキノ●40世帯
■垂ノ口●大吉　操●127
■江　湖●松田　初枝●26
■上　浜●松田　弘治●99
■中　浜●亀井　政夫●68
■下　浜●中村　吉臣●118
■蒲生田(1)●福元　澄則●7
■蒲生田(2)●橋口フジ子●17
10月～（岸井　清治）
■今　町●竹内　親男●113
■毘沙門町●村田　譲●25
■西　町●尾上　辰二●27
■端　山●下松瀬正良●109
■反土黒川●岩崎　正●79
〔城南地区　855世帯〕

■日木山黒川●入部洋一●48世帯
■日木山団地●撰　正敦●55
■吉　原●左近充純親●253
■東吉原●基　多美男●66
■下新道●藤井　節夫●143
■里ノ上●谷口　絹子●19
■里ノ下●吉村　昌輝●80
〔城東第一地区　664世帯〕

■柳　田●今中清一郎●205世帯
■於　里●芝　照彦●130
■新富団地●佐川　茂●44
■田　中●中山　澄雄●175
■竹　下●平野　正男●93
〔城西地区　647世帯〕

■天　神●上村　直●114世帯
■東諏訪●老谷　弘●128
■西諏訪●岩崎　為則●117
■小　陣●浜田　忠治●70
〔城東第二地区　429世帯〕



まちのわだい

入浴の後は“お花見”をどうぞ

●竜泉閣の烏丸豊さん夫婦が招待

町営温泉・竜泉閣の前庭で，今年も“花見の宴”が催され，一ふろ浴びたお年寄りなどでにぎわいました。

これは，竜泉閣の管理人・烏丸豊さん夫婦が「入浴して下さる人に，お礼のつもりで」と，奥さんの手料理や焼ちゅうなどを準備。入浴客を招待しているものです。

散り急ぐ桜の木の下で，参加者は焼ちゅう“龍門滝”を酌みかわしながら“おらが春”を楽しんでいました。

網掛橋の欄干に「クモ合戦」の彫刻板

●建設省国道工事事務所が設置

国道10号線の網掛橋の欄干に，町の伝統行事「クモ合戦」の彫刻板が飾られ，通る人の目を楽しませています。

これは，建設省鹿児島国道工事事務所・加治木維持出張所が，欄干かけ替え工事の際「国道にもっと関心をもってもらいたい。何か加治木らしいものを」と64万円をかけて設置したもので，タテ48㌢，ヨコ60㌢のアルミ合金製のパネルが４か所の欄干にはめ込まれています。

「交通遺児のために役立てて」

●商工会婦人部が町に寄贈（４月25日）

商工会婦人部の坂元広子部長，有馬トミ子副部長，村田和子監事の３人が，４月25日町長室を訪れ「交通遺児のために役立てて」と現金38,000円を町に贈りました。

これは，会員がタオルや石けん，皿など家庭内の不用品を持ち寄り，毎年，初市の会場で行っている“バザー”の収益金を寄贈されたもので，町では，交通遺児のために活用することにしています。ありがとうございました。

潮干狩り客でにぎわう

●須崎海岸などで３月１９日に解禁

須崎や姶良町の海岸での潮干狩りが３月19日解禁され，日曜日などはおおぜいの人でにぎわっています。

この潮干狩りは，錦海漁協（松田繁美組合長）が，毎年秋に稚貝を放流し，開放しているもので，今年は貝の成長が良く，例年より20日も早く解禁されました。

料金は，大人（中学生以上）が 300円，小学生が 150円で，15人以上の団体の時は割り引きもあります。

まちのわだい

身近かなニュースや話題をお知らせ下さい。 (☎62—2111) 総務課文書係

龍門滝をのぼる“こいのぼり”

●「高竜会」が今年も60匹を（4月16日）

町が開発を進めている龍門滝に，今年も4月16日から60匹余りのこいのぼりが元気に泳ぎはじめ，滝をのぼっていくような姿が訪れる人の目を楽しませています。

これは，高井田の釣り仲間で作っている「高竜会」（上枝幸男会長，会員9人）が「龍門滝のすばらしさをピー・アールしよう」と4年前から始めたもので，こいのぼりの提供を申し出る人もあるなど，すっかり定着しました。

「踊れば花じゃ，踊らにゃ損じゃ」

●隈原自治会の“ひなじょまつり”（4月2日）

西別府の隈原自治会に伝承されている月おくれのひなまつり“ひなじょまつり”が4月2日行われました。

この日は，大頭の隈原由里子さんをはじめ，きれいに着飾った女の子たちが，地区内の家々を回りました。

堂森重義さん宅では，孫の「大史くん」を前に“踊れば花じゃ，踊らにゃ損じゃ”などと歌いながら踊りを披露し，赤ちゃんの健やかな成長を祈りました。

『春の七草』をさがしてみよう

●町健康づくり歩こう会（4月16日）

“自然と親しみながら歩くことで健康づくりを進めよう”と第2回町健康づくり歩こう会が4月16日，竜門司坂や龍門滝，龍門司焼などを訪ねる 5.5キロのコースで行われ、親子連れなど100人余りが参加しました。

竜門司坂では，町社会教育学級の内村茂先生が「春の七草をみんなでさがしてみましょう」と，石畳の周りに自生しているセリなどの植物について説明しました。

宇都宮町長が“1日郵便局長”に

●第56回逓信記念日（4月20日）

東京—大阪間に初めて国営による新式郵便業務が開始されたのを記念して，昭和9年から設けられた「逓信記念日」の4月20日，宇都宮町長を“1日郵便局長”に迎え，加治木郵便局で記念式典が行われました。

式典では，郵政事業に御協力いただいているかたがたや，事業優績者の表彰が行われた後，1日郵便局長の宇都宮町長が，事務の決裁や局内の視察などを行いました。

元町長 緒方明男氏を悼む

元加治木町長 緒方明男 儀
かねて病気療養中のところ四月十日午前三時三十八分逝去致しました。
滋に生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます。
名古屋市中区平和二丁目二番八号
三井東別院ハイツ三〇五号
喪主 緒方キヨ
外家族一同

緒方明男・元町長が四月十日、病気のため七十六歳をもって永眠されました。
故緒方明男氏は、昭和二十九年から一期・四年第十一代加治木町長として、町政の発展に尽力されました。
故人の生前の御功績、御労功に感謝し、心からごめい福をお祈り申し上げます。どうぞ安らかにお眠りください。
▽御長男の高明様から「町育英奨学資金としてお役立てください」と御寄付をいただきました。ありがとうございました。

"特大の加治木まんじゅう"で歓迎

町教職員就任式

町内の小・中学校に着任された二十六人の先生がたを迎え四月十三日「町教職員就任式」が新装なった柁城小学校の校舎で行われました。
就任式では、乙須教育長が「町では21世紀に対応した特色ある学校づくりに取り組んでいます。早く雰囲気にとけ込んでいただき、新風を吹き込んで下さい」と式辞を述べました。
また、宇都宮町長が「思いやりのある心豊かな子供たちが育つよう御協力をお願いします」と歓迎の言葉を述べました。

この後、先生がたに「早く加治木になじんでもらおう」と特大の加治木まんじゅう（普通サイズの六個分・紅白二個）がふるまわれ、柁城小学校に赴任された橋口大士先生は「大好きです」と二個ともぺろりと平らげていました。

口いっぱいにほおばって…

▼新しい先生がた

学校名	職名	氏名	前任校
柁城小	教諭	水野美津代	北山小
	〃	渕脇　峰	境小
	〃	橋口　大士	新採
	〃	柏原はるみ	〃
	〃	田中　陽一	牧園小
	〃	枦木　利章	三島小
	〃	下園　昌三	湾小
	〃	谷山美知江	新採
	栄養職員	今村　純子	山田中
錦江小	教諭	横山　浩彦	手打中
	〃	後藤　力	石谷小
	〃	牧　真理子	新採
竜門小	教頭	樋渡　清也	川尻小
永原小	教諭	吉原　雄幸	郡小
加治木小	教諭	肝付　信寛	国分南小
	〃	古川　美保	新採
	〃	脇門　啓祐	新採
	〃	池田　睦子	寿北小
	〃	小野　和子	国分南小
	〃	野ケ峰　司	新採
加治木中	教諭	白瀬　政行	新採
	〃	濱田　輝雄	吉田北中
	〃	松山　千草	新採
	〃	南　常一郎	和泊小
	〃	大谷　尚美	新採
	事務職員	古江　孝	日当山中

発育の状況などを審査

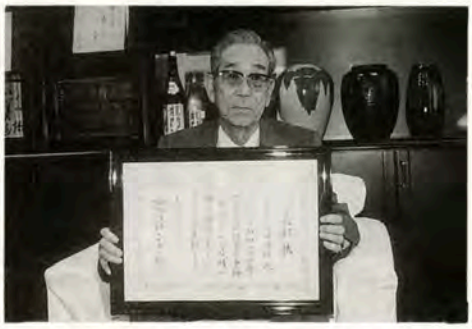
町春季畜産品評会

町春季畜産品評会は三月三十一日、鎮守小学校跡地で行われ肉用牛二十二頭と種豚四頭が出品されました。
品評会では、体型や肉付きなど発育の状況が慎重に審査されこの結果、優秀賞に輝いた肉用牛のうち八頭がまた、種豚四頭が、四月十九日隼人町で開催された郡春季畜産共進会に出品されました。

最優秀賞は、次のとおりです。
■肉用牛一部（七頭）
末吉　泰（小山田）▽岩穴口秋夫（小山田）▽市野久子（小山田）
■肉用牛二部（十一頭）
前畠春雄（西別府）▽市野久子（小山田）▽内村照夫（小山田）▽内村盛義（小山田）▽有馬義則（木田）
■肉用牛三部（四頭）
緒方武夫（日木山）
内村照夫（小山田）
■種豚の部
未経産…大山　茂（小山田）
音之宮辰二（日木山）
経産豚…柚木　満（朝日町）
種雄豚…日高末利（木田）

総務庁長官表彰を受賞

濱田清任さん（上浜）



濱田清任さんに表彰状を伝達

昨年実施された住宅統計調査の調査員として、調査票の配布や回収・審査などに従事された上浜の濱田清任さんが三月三十一日、総務庁長官表彰を受賞されました。

これは、濱田さんが昭和五十五年と六十年の国勢調査をはじめ、事業所統計調査や商業統計調査など各種統計調査の調査員として、正確な調査票の記入に努めるなど誠意をもって事務に従事された功績が高く評価されたものです。

伝達式は四月十八日、町長室で行われました。

地域住民の融和と育成に尽力

宮路義彦さん（須崎）

須崎自治会の宮路義彦さんに四月二十七日、町政の発展に貢献されたその功績をたたえ〝町長表彰〟が贈られました。

これは、宮路さんが昭和五十九年度から六十三年度まで、行政連絡員並びに自治会長として五年間、地域住民の融和と育成に尽力されており、その功績が高く評価されたものです。

表彰式は、福祉センターで開催された行政連絡員辞令交付式の席上行われ、宇都宮町長から宮路さんに表彰状が手渡されました。

表彰を受ける宮路義彦さん

薬草

知られざる効き目

ヤドリギ

秋、紅葉がすみ、落葉したエノキの枝先に大きな鳥の巣の感じで、丸い球のヤドリギを望見します。普通エノキに寄生しますが、ネズミモチやツバキなど冬、小鳥たちがとまりやすい常緑樹にも寄生します。

ヤドリギは常緑小低木で、北海道から九州、中国・朝鮮半島に分布します。

長さ四十～六十㌢、二叉（また）または三叉（また）に枝分かれし、毛は無く緑色、茎は柔かいが強い。葉は対生で無柄、雌雄異株。二月ごろ黄緑色の小さな花が開き、やがて淡黄色のナンテンに似た実がつきます。

シベリアで繁殖し、秋に日本に渡って来て越冬する「キレンジャク」というきれいな小鳥がこのヤドリギの実を好んで食べます。

実には、平たい深緑色の種子が一つはいっており、果実には甘酸っぱい、トリモチ状に粘るものがあり、小鳥たちはこれが好物なのです。

枝に止まった小鳥が糞をし、その中に種子を排出、粘液が糸を引いて落下、他の枝にくっついて、やがて発芽します。

時には一㍍から二㍍の尾を引いて空を飛んでいる小鳥を見ることがあります。そのせいでしょう、太い幹にも細い枝先にもやどります。

時期を問わず、茎葉を採取し細かく刻んで日干しにします。

血圧降下作用、鎮痛、リウマチ、神経痛、産後の乳不足に用います。民間では強壮薬として用いますが、果して効果のほどは…。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

68

竜門句会

ひらがなで名前が書けて卒園す　川崎　黒兎

咲ききそふ辛夷（こぶし）や他郷と思ひ居り　三浦　ゆう

家解かれ辛夷一樹の残りたる　内田美津代

山笑ひ初めし動きの雨上り　佐々木かすみ

手の中にやどかりがいてSOS　恒吉　斗南

因州紙筆の運びも花便り　古江　重美

一しきり桜散りゆく滝おろし　加藤　白柳

火の島を包み今年の土降れり　鶴田　耕

引越しの児のつれづれや花の冷え　竹山　洋子

火の山の滲（にじ）み出でたる春霞　高木　正男

日曜在宅のお医者さん

6月

	在宅医	☎
4日	壱岐医院	62(2)2222
11日	池田医院	62(2)2220
18日	大川医院	62(2)2032
25日	川畑医院	63(1)1499

1989 5 おしらせ

人権擁護委員制度を御存じですか

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

日本が戦後新しく生まれ変わったとき、何よりもまず国民の基本的人権の擁護と人権思想の普及高揚が強く求められ、基本的人権の尊重を基調とした日本国憲法が制定されました。

このような背景の下に、昭和二十三年にまず政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが「人権擁護委員制度」の始まりです。

人権は、人間が平和に生きて行く上で、最も大切な権利です。

自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。つまり人権は共存するものなのです。

お互いに人権を守って明るい社会をつくることが、私たちの願いです。

全国人権擁護委員連合会は、六月一日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんと共に一層の人権思想の啓発に努めることを申し合わせています。

相談は無料で、秘密は守られます。お気軽に御相談下さい。

悪質商法に気を付けよう

五月は「消費者被害防止月間」です。高齢者や主婦などを狙い、巧妙な手口で多くの被害を与える悪質商法が、依然として後を絶ちません。

悪質商法にだまされない賢い消費者になるため次のことに注意しましょう。

■セールスマン等の訪問を受けたら……まず、会社名、氏名、用件などを尋ね、おかしいと思ったら家の中に入れない。また、電話の場合は早めに切ること。

■商品、権利、サービス等の購入を強引に勧誘されても、いらないものははっきり「いりません」と意志表示すること。

■契約に当たっては、その契約内容等をよく確かめるとともに、家族などの意見もよく聞いて冷静に判断すること。

◎悪徳商法でお困りの方は、一人で悩まずに、お気軽に御相談下さい。

▽相談窓口…県警本部生活保安課悪徳商法一一〇番（☎ 0992㉗2889）または、加治木警察署　防犯係（☎ 62－2131）

うぶ声

出生児

岩本　彩花　保護者　志郎
今西　由香　正照
今西　志帆　正照
大人　槙平　正
桑畑　和将　治
後迫　朱梨　祐二
中島　尚之　順一
米谷　美希　秀男
馬場　健二　正一
片ノ坂麻弥　雄治
川野　隼司　茂久
児玉未友希　俊行
茂岡　大介　実
安田　兼大　一雄
内村　仁露　昭夫
森山　千寛　円
岩見　孝行　文行
長重　俊城　勝純
川内　彩恵　康範
酒匂　駿次　健司
前村　勇太　輝美

▽四月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

自治会

岩原西　楠園
蔵王団地　楠園
須崎　豊町
赤坂　弥勒
浜村　下新道
赤坂　於里
原ノ門　小陣
永原　赤坂
豊町　蔵王団地
西諏訪　今町
市野

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

宮城俊治　反土一五四七　蔵王団地四七－二B－十四（☎63 3787）

中摩多美子　反土二七五六（☎62 2768）

岡山秀樹　錦江町二五三番地二（☎63 2878）

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円
下浜　白川　清人（父　貞夫七三）
三万円
長谷　伊福　春男（母　エイ八七）
五万円
里ノ下　向江ヨシコ（夫　静男七九）
三万円
川内　東川内レイ子（夫克巳六五）
五万円
西町　堀内喜一郎（母　ヒデ八二）
十万円
西塩入上　松永　康郎（父　毅六三）
一万円
新富団地　上村典尚（母　フミ七六）
二万円
下瀬　山口　斉（母　ハル子七三）
二万円
口ノ町　坂元　キサ（夫　慶蔵七四）
二万円
向江町　西村則雄（妻　サダ子六六）
二万円
西諏訪　石神　勲（母　砂　八六）
三万円
川内　川内　輝代（父　重良七六）
三万円
新開　小原　ハル（夫　米森七八）
五万円
御狩山　榎薗　明（母　シノブ八四）
一万円
桃木野　山道陽子（長沼光男　四〇）
五万円
楠園　六反千尋（妻　久美子三五）
二万円
東諏訪　森照子（夫　常盤武男六一）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円
向江町　吉屋　キミ（夫　安光八二）
五万円
御狩山　榎薗　明（母　シノブ八四）
五万円
楠園　六反千尋（妻　久美子三五）

▽四月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

記事訂正とおわび

四月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。（敬称略）

▽十三ページ「職員の異動」中
北野靖住→北野靖往

▽十四ページ「老人芸能大会」中
瀬戸口三夫→瀬之口三夫